授業科目　装具学特論実習

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	義肢
坂井　一浩　他	開講時期	前期	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	60

【概要・一般目標：GIO】
装具に関する理解を深め，さらに適合技術を高めるために，与えられた症例に対する検討と考察，および製作適合工程から重要事項を学ぶ。

【学習目標・行動目標：SBO】
1. 装具学に関する知識を統合できる。
2. 材料加工に関する知識と技術を統合できる。
3. 対象者に対し専門家としての態度がとれる。
4. 製作した装具の効果について客観的かつ多角的に評価できる。
5. 問題を客観的に捉え，これを解決することができる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	対象者に適当な評価法	1～5	担当教員との検討と実習
2	装具バイオメカニクスの検討とデザインへの反映	〃	〃
3	装具効果の予想	〃	〃
4	具体的な臨床工程ストラテジー	〃	〃
5	適合評価プロトコール	〃	〃
6	問題解決	〃	〃
7	症例プレゼンテーション	〃	ディスカッション

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】
義肢装具士として求められる重要項目について，評価表をもとに判断する。筆記試験は行わない。

【履修上の留意点】
履修登録者数を制限することがある。この場合，本科目は装具学のアドバンスドコースであるため，関連科目の過去の成績についても考慮する。